

放課後等ディーサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 キッズワールドサポートOceanⅡ

チェック項目		はい	どちらともいえ ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		5	2	活動時にプレイフロアが狭く感じるが活動リーダーが工夫して支援を実施している。	プレイフロア、相談室は定員に対して適切ではあるが、活動の際は室内の有効性を工夫する必要があり職員連携し対応させていただく。
	2 職員の配置数は適切である		5	2	配置基準は満たしている。	感染症時に病欠が発生した際は、欠員が出た時は、足りないときもあった。健康管理を行い、欠員がでないように配慮していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6	1	階段昇降時には職員を配置し対応している。	利用者のニーズに合わせて合理化を図っていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		PDCAサイクルをもとに会議を行っている。	業務内改善を図る為、職員間で日々連携を取っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		保護者の意見を聞き職員で話し合い業務改善を行っている。	保護者の意見を受け止めて、事業への改善に努めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		HPで公開している	毎年実施後にはHPにて公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	2	第三者を交えた外部評価を実施したことがない。	第三者委員と提携し会社をより良いものに改善していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		動画等によるまなびの場を持つ機会がある。	研修は定期的に実施しています。また、今後も継続して支援に必要な内容の研修や勉強会を行っていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディーサービス計画を作成している	7			事前にニーズや課題を確認し計画書を作成している。	児発管を軸に関係職員にて支援の検討を行い、計画書作成をしていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		アセスメントツールを使用しています。	定期的にアセスメントの更新を行い、関係職員にて周知徹底し支援に反映していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		職員で話し合いの場を持ち活動に取り組んでいる。	今後活動プログラムの勉強会を実施し、児童支援に寄り添って作成していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			様々な情報を集め活動に取り入れている。	児童の特性に合わせて活動を検討と実施を行っている。又、月に一度保護者へ配布も行なっている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			1人1人の課題を把握し支援を行っている。	1日の活動予定表を作成し、児童への周知も出来るよう今後も努めていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディーサービス計画を作成している	7			モニタリングを行い計画書の作成を行っている。	支援計画書に沿った支援や集団での過ごし方等を適時話し合いしながら作成を行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		その都度職員間にてスケジュールや支援内容の確認を行っている。	前日のブリーフィングを行い、職員間で支援の見直しや解決策を話し合い支援に反映させている。今後も継続していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		翌日の午前中に申し送りと一緒に実施しています。	今後も児童支援の話し合いは細かく行い日々の成長のサポートさせていただきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			個々のファイルを作成し日々支援内容を記録しています。	サービス提供記録に記入後モニタリングや担当者会議等での振り返りに活用している。記録内容を元に計画書の見直しも隨時行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディーサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的にモニタリングを行っています。	適時モニタリングを実施し支援の評価と見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	1		会社のガイドラインに合わせて支援を提供している。	児童のより良い支援を目指して研鑽を積んでいきます。

		チェック項目	はい どちらも いいえ いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管または現場児童指導員にて担当者会議に参加している。	適時モニタリングを実施し、支援の評価と見直しを実施している。見直し内容と日頃の利用状況をまとめ適切な職員で対応を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		スクリレを活用し予定把握をするようにしている。	学校お迎え時に先生からの引継ぎや保護者から情報を頂き変更に対応できるように努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	現在、該当する児童はいません。	今後、医療的ケアが必要な児童が入所になった際は、主治医と連携図り、成長のサポートをしていく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	児童発達支援から放デイへ移行する際には保育園情報を引き継ぎにて提供して頂いている。	今後も密に連携を図り情報共有を図って児童支援を提供していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6	まだ卒業して福祉サービスに繋がる児童はない。	まだ卒業した児童がないので、卒業の際は関係事業所との情報共有と連携を図ってていきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	月に2度言語聴覚士さんに来てもらい言語訓練などの助言はもらっています。	今後情報共有が必要な場面では連携を図ってていきたい。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	コロナ禍前は近隣学童とハロウィンイベントを通して交流していた。	機会があれば交流行っていきたい。また、児童館のイベント等を利用しながら遊びの幅を広げる取り組みを実施していく。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6	参加したことがない。	機会があれば参加していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時の申し込みや電話、LINEを活用し日頃から保護者と情報共有や共通理解に努めています。	今後とも保護者との関わりを増やし、家族の困りごとを親身に受け止め連携を図っていきたい。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている		2	5	要望があれば情報提供をしていきたい。	ペアレントトレーニングを希望している保護者へは研修情報があれば提供している。また、当事業所でもペアトレの観点で話し合いができるような環境も検討して行きたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時に丁寧な説明を行っています。また内容が変更されるたびに再度説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎やモニタリング会議など、その都度話し合いを伺い助言と支援を行っていきます。	保護者が相談しやすい関係性を築いていきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	6	コロナ禍もあり実施できていない。	コロナウイルスもあり実施できていないが、今後保護者を交えた交流会やイベントを企画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	苦情ボックスを設置し把握に努めています。苦情があった場合は児童発達管理責任者にて対応しています。	今後も迅速にかつ適切に対応できるように体制を整えていきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月の予定表を配布しています。また個別でも連絡体制も整えています。	活動予定や会報を配布しその都度事業所での取り組みや子ども達の様子を報告していきます。	
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報書類は鍵付きの棚で管理を徹底しています。	守秘義務を順守します。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	個人の特性に配慮しています。	日々試行錯誤し、よりよい情報伝達ができるように改善していきます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	1	地元のお祭りに、日頃練習しているダンス活動の発表の機会を頂き実施する事が出来た。	地域のイベントに参加のみではなく、事業所内でも地域参加が出来るような取り組みを検討して行く。

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		1	対応マニュアルはあるが、内容は保護者には伝わってないと思う。	防火、防災、防犯訓練実施の度に保護者へ内容や様子を引き継ぎ、マニュアル等の周知に取り組みたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		避難訓練は行っているが、救出は行ってない。	避難訓練の実施頻度を増やして、質を高められるように職員間で話し合っていきます。また、避難の際の救出を想定した内容も訓練の一つとして組み込んで行きたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		年2回、研修を実施しました。また虐待防止研修終了者に伝達研修も行いました。	定期的に研修、事業所内勉強会を実施し日々の支援に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7		現在拘束が必要な児童はないが、必要になった際は組織的に対応していく	拘束が必要な児童は現在いない。やむを得ない理由で拘束の必要性が出てきた際は、職員間、保護者と情報共有を密に対応させて頂きます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		アレルギー診断書はあるが、医師より情報共有や指示はない。	アレルギーの内容に応じて主治医に確認を取りながら情報共有を図れるように考慮していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			その都度ヒヤリハットを作成しミーティングにて報告、共有しています。	危険回避、安全意識の向上を図るため、共有徹底している。